

一定の投資性金融商品の販売・販売仲介に係る「重要情報シート」（個別商品編）

2024/10/21現在

1. 商品等の内容（当金庫は、組成会社等の委託を受け、お客様に商品の販売の勧誘を行っています）

金融商品の名称・種類	しんきんJリートオープン（隔月決算型）・証券投資信託
組成会社（運用会社）	しんきんアセットマネジメント投信株式会社
販売委託元	しんきんアセットマネジメント投信株式会社
金融商品の目的・機能	わが国の金融商品取引所上場（上場予定を含みます。）の不動産投資信託証券（Jリート）に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を目指して運用を行います。
商品組成に携わる事業者が想定する購入層	中長期での資産形成を目的とし、元本割れリスクを許容する方を想定しています。
パッケージ化の有無	当ファンドの実質的な投資対象であるJリートは、上場投資信託であり、当ファンドは複数の投資信託に投資する投資信託（ファンド・オブ・ファンズ（FOFs））に該当します。当金庫においては上場投資信託を個別の金融商品としてご購入いただくことはできません。
クーリング・オフの有無	クーリング・オフ（契約日から一定期間、解除できる仕組み）の適用はありません。

- （質問）
- ① 毎月決算型との違いは、どんな点にありますか？
 - ② この商品が、私にとって好ましいと考える理由は、どういった点にありますか？
 - ③ 分配金の水準は、実質的には固定化していると考えてよいですか？

2. リスクと運用実績（本商品は、円建ての元本が保証されず、損失が生じるリスクがあります）

損失が生じるリスクの内容	当ファンドは、主に上場不動産投資信託を実質的な投資対象としますので、不動産投資信託の価格の下落や発行体の経営状態の悪化などの影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。 主なリスクは以下のとおりです。 価格変動リスク、不動産投資信託のリスク、信用リスク、流動性リスク
過去1年間の収益率	*表示できるデータはありません
過去5年間の収益率	*表示できるデータはありません

※ 損失リスクの内容の詳細は、交付目論見書の「投資リスク」、運用実績の詳細は交付目論見書の「運用実績」にそれぞれ記載しています。

- （質問）
- ④ 隔月決算型の基準価額は、毎月決算型と比べて安定するといえますか？
 - ⑤ 今後、金利の上昇局面になると、基準価額は下落しますか？

3. 費用（本商品の購入又は保有には、費用が発生します）

（税込）

購入時に支払う費用 （販売手数料など）	窓口購入	インターネット購入
	2.20%	1.54%
継続的に支払う費用 （信託報酬など）	運用管理費用（信託報酬）年率0.99%（税抜0.90%） その他費用・手数料等が実費でファンドから支払われます。これらは事前に料率、上限等を表示することはできません。	
運用成果に応じた費用 （成功報酬など）	ありません。	

※ 上記以外に生ずる費用を含めて詳細は、交付目論見書の「手続・手数料等」に記載しています。

- （質問） ⑥ 信託報酬とは、こういった目的で徴収するのですか？
⑦ 新NISA制度対象商品の中では、手数料が高い方ではありませんか？

4. 換金・解約の条件（本商品を換金・解約する場合、一定の不利益を被ることがあります）

償還期限	この商品の償還期限はありません。但し、繰上償還を行う場合があります。
解約時手数料	この商品に解約手数料は生じませんが、残存受益者への影響を低減するため、換金申込受付日の基準価額に0.3%を乗じて得た額を信託財産留保額として信託財産内に留保します。
解約の制限事項	金融商品取引所における取引の停止、その他やむを得ない事情があるときは、換金の申込受付を中止することおよびすでに受け付けた換金の申込受付を取り消すことがあります。

※ 詳細は、交付目論見書の「手続・手数料等」に記載しています。

- （質問） ⑧ 信託財産留保額とは手数料の一種ですか？ 何のために必要なのですか？

5. 当金庫の利益とお客様の利益が反する可能性

手数料	当金庫がお客様にこの商品を販売した場合、当金庫は、お客様が支払う運用管理費用（信託報酬）のうち、組成会社から年率0.495%（税抜0.45%）の手数料を頂きます。これは交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理および購入後の情報提供等の対価です。
-----	---

※ 利益相反の内容とその対処方針については、ホームページ「顧客本位の業務運営に関する原則」の「取組方針」をご参照ください。

（URL） <https://www.numashin.co.jp/policy/files/fiduciaryduty.pdf>

- （質問） ⑨ 特定の商品を推奨販売していることは、あるのですか？

6. 租税の概要（NISA、iDeCoの対象か否かもご確認ください）

租税の概要	分配時には配当所得として普通分配金に対して20.315%の所得税および地方税が課税されます。 換金(解約)時および償還時には譲渡所得として差益（譲渡益）に対して20.315%の所得税および地方税が課税されます。 新NISA（成長投資枠）でご利用できます。
-------	---

※ 詳細は、交付目論見書の「ファンドの費用・税金」に記載しています。

7. その他参考情報（契約にあたっては、当金庫Webサイトに掲載された次の書面をよくご覧ください）

- ・ 販売会社（当金庫）が作成した契約締結前交付書面【目論見書補完書面】

(URL①) <https://www.numashin.co.jp/kojin/uno/files/mokuromisyo.pdf>

※ PDF形式で掲載しています。

①



- ・ 組成会社が作成した【目論見書】

(URL②) <http://www.skam.co.jp/fund/detail/140891/>

※リンク先は、当金庫が運営するホームページではありません。

当金庫はリンク先の表記等について保証するものではなく、一切の責任を負いません。

②



契約締結に当たっての注意事項等をまとめた【契約締結前交付書面】、金融商品の内容等を記した【目論見書】については、ご希望があれば、紙でお渡しします。



沼津信用金庫

商号等/沼津信用金庫 登録金融機関 東海財務局長(登金)第59号

< 質問回答例 >

しんきんJリートオープン（隔月決算型）

	< 質問 >	< 回答例 >
①	毎月決算型との違いは、どんな点にありますか？	隔月決算型は、新NISA制度に対応した商品として新たにつくられたものですが、運用のマザーファンドは毎月決算型と同一です。
②	この商品が、私にとって好ましいと考える理由は、こういった点にありますか？	再投資によって口数と財産評価額を増やすこと、分配金受取りのキャッシュフローを得ること、どちらも選択いただける点です。
③	分配金の水準は、実質的には固定化していると考えてよいですか？	この商品も分配金とファンド価格の両者によって投資成果をみていただく観点から、分配金水準を固定的に維持することはありません。
④	隔月決算型の基準価額は、毎月決算型と比べて安定するといえますか？	毎月分配金を支払う負担が軽減される点は基準価額の維持につながりますが、上場リート価格の変動という本質的な要因は同一です。
⑤	今後、金利の上昇局面になると、基準価額は下落しますか？	たしかに金利上昇は、投資対象の投資法人の調達コストに影響を与えますが、株式と同様に市場は複数の要因で変動するため、一律的に下落方向になるとは限りません。
⑥	信託報酬とは、こういった目的で徴収するのですか？	この商品の当事者である運用会社・信託銀行・販売金融機関が要する様々な経費を補填する目的があります。お客様の運用期間に正確に対応させるため、日々のファンド価格から控除されます。
⑦	新NISA制度対象商品の中では、手数料が高い方ではありませんか？	積立投資枠の商品と比べると手数料はかかりますが、弊庫が取り扱う成長投資枠の商品においては平均的な水準といえます。
⑧	信託財産留保額とは手数料の一種ですか？ 何のために必要なのですか？	換金手数料とは区別されており、ファンド運用資金の大幅な減少、それによる基準価額の大幅な下落を抑える目的があります。
⑨	特定の商品を推奨販売していることは、あるのですか？	多くのお客様が購入なさる商品であっても、常にお客様ご自身の運用資産構成に配慮したご提案を差し上げておりますので、ご安心ください。